

少子化対策庁内連携会議における取組結果について

1 取組の経過

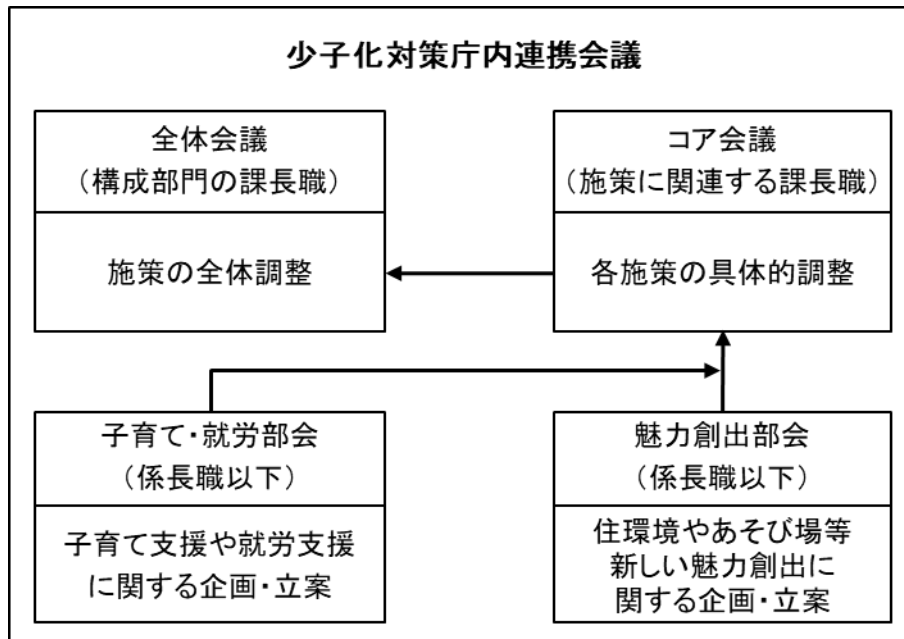
全国的に少子高齢・人口減少が進む中、当市では、少子化対策の必要性を検討するため、令和2年度に、内閣官房が実施する調査研究事業に参加し、地域分析を行ったところであり、令和3年度においても、引き続き、少子化対策の観点で「子育て・就労を充実させること」及び「住まいやあそび場などの魅力を創出すること」について検討を行い、令和4年度の実施に向けた事業の検討を行うこととなった。

2 取組の内容

(1) 少子化対策庁内連携会議の設置について

令和3年4月に、庁内横断的に少子化対策の事業を考案するための組織として、少子化対策庁内連携会議（以下「庁内連携会議」という。）を設置し、課長職で構成する全体会議・コア会議と、主に係長職以下で構成する「子育て・就労部会」及び「魅力創出部会」の体制により、検討を行うこととした。

【庁内連携会議の体制図】



※1 庁内連携会議は、総務部、企画政策部、生活環境部、経済部、健康福祉部、建設部、教育部から選出された職員で構成

※2 職員体制は、全体会議16人(コア会議は、全体会議メンバーのうち、10人で構成)、子育て・就労部会12人、魅力創出部会8人の計36人で構成

(2) 庁内連携会議の開催経過について

庁内連携会議による検討は、令和3年4月に開始する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、5月の開始となった。それ以降、二つの施策検討部会は、概ね1か月に1回開催して協議を行ったほか、同部会の進捗状況を見ながら、適宜、コア会議・全体会議を開催し、進捗状況の把握及び考案事業に関する協議などを行った。

【庁内連携会議の開催状況】

	施策検討部会		コア会議・全体会議
	子育て・就労部会	魅力創出部会	
顔合わせ	令和3年5月17日(月)		○第1回 コア：5月17日(月) 全体：5月20日(木) ○第2回 コア：7月29日(木) 全体：8月2日(月) ○第3回 コア：10月14日(木) 全体：10月18日(月)
第1回	7月1日(木)	6月30日(水)	
第2回	7月20日(火)	7月19日(月)	
第3回	8月20日(金)	8月19日(木)	
第4回	9月14日(火)	9月13日(月)	
第5回	10月6日(水)		



魅力創出部会：グループ討議の様子



子育て・就労部会：グループ発表の様子



魅力創出部会：現地見学の様子



コア会議の様子

3 取組の結果

(1) 庁内連携会議における検討結果

「子育て・就労部会」及び「魅力創出部会」において、それぞれ5回に及ぶ検討を重ねたほか、「コア会議・全体会議」において検討された事業の調整などを行った結果、以下の事業が考案され、所管課が決定した。

なお、所管課の決定後は、庁内連携会議から所管課に対して考案事業の内容に関する引継ぎを行い、所管課において事業内容を調整した上で予算要求をすることとなった。

【考案事業一覧】

NO.	考案事業 () 内は、予算事業名	所管課	考案部会
	事業概要		
1	・道産木材を活用した魅力的な遊び場創設事業	経済部農業振興課	魅力創出部会
	都市と農村の交流センター「えみくる」の豊かな自然環境の中で、親子が楽しめる大型木製遊具を設置し、江別が持つ魅力を感じてもらう。		
2	・江別の魅力「食」と「自然」を満喫できる体験型学習事業	教育部生涯学習課	魅力創出部会
	都市と農村の交流センター「えみくる」にて、「自然体験学習」や「地場産品を活用した食育」を通じて、地域の強みを生かした体験型学習を子どもたちに提供する。		
3	・子育て支援コーディネーター利用促進事業 (子育てサービス利用者支援事業)	健康福祉部子育て支援室子ども育成課	子育て・就労部会
	子育て支援コーディネーターが市内全域の子育て世帯と関わり、困り事が生じたときに相談いただけるよう、出生・転入届出時や4か月児健診時などに面談を行う。		
4	・一時預かり拡充事業 (親子安心育成支援事業(子育てひろば事業))	健康福祉部子育て支援室子ども育成課	
	子育て中の保護者が息抜きをできるよう、ゼロ歳児の一時預かりの受入れ体制を充実させる。		
5	・江別の子育て魅力発信事業 (えべつシティプロモーション事業)	企画政策部政策推進課	
	市内外の子育て世代に対して、江別市の子育てのイメージアップを図り、移住・定住につなげるため、江別市の子育て環境魅力発信 Instagram フォトキャンペーンを行う。		
6	・子育て応援企業紹介等事業 (江別まちなか仕事プラザ事業・職員研修事業)	①経済部商工労働課 ②総務部職員課	
	① 子育てをしながら働きやすい環境づくりに取り組む市内企業を紹介するチラシを作成し、江別まちなか仕事プラザにおいて、求職活動中の子育て世代に配付する。 ② 一事業所としての江別市が、職員に対するワークライフバランス向上研修を新設して、子育てを応援する組織風土の醸成を目指す。		

(2) 今後の少子化対策に向けた考え方について

- 江別市の少子化対策は、令和3年度に考案された事業をもって終わるものではなく、今後も全ての部局において、少子化対策、ひいては人口減少対策の視点を持つ必要があること。

- 適宜、部局間で協力しながら新規事業の立案や既存事業の改善を図っていくほか、各関係課との連携のもと、あらゆる媒体を活用した情報発信を行いながら、事業を実施していく必要があること。